

総務

一般会計予算中、新市誕生10周年記念関連経費

〔質問〕どのような事業を計画しているのか。

〔答弁〕記念映像の上映や市の木、市の花の披露、子どもたち参加のアトラクションなどの記念式典のほか、「新佐賀市誕生10周年」の冠をつけた冠事業を実施し、新たに製作する10周年のロゴマークの使用により広く市民にアピールしたい。

〔質問〕新市誕生10周年というが、旧市町村間にはまだまだ距離感が感じられる。今

後の市民のさらなる一体感の醸成には絶好の機会であるため、多数の市民が参加できる工夫が必要では。

〔答弁〕さらなる一体感の醸成のためには、これからの社会を担う子どもたちの参加により保護者や地域の方々の参加につなげたい。また、市の木、市の花を制定し、それを各地域において地域の方や子どもたちで記念植樹を行い、郷土愛や一体感の醸成につなげたい。

同議案中、八戸地区枝梅酒造活用事業

〔質問〕景観上の位置づけがないこの八戸

地区の物件の取得の目的は。また、どういう活用をするのか。

〔答弁〕長崎街道の歴史的景観である「のこぎり型家並み」を後世に継承することが目的。長崎街道の西側にはない駐車場やトイレのある休憩所などの観光客や来訪者のもてなし施設としての活用のほか、テナントが入るスペースも設けて、入居者に建物の管理をしてもらうことも検討している。

〔質問〕この建物は内部や外観がかなり傷んでおり、保存を前提として活用していくためにはさらに多額の費用がかかるのではないか。

〔答弁〕建物の修復だけで6600万円程度

の費用が見込まれ、さらにトイレの設置や建物の活用のための改修費用が必要になる。

〔審査結果〕すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。一般会計予算の八戸地区枝梅酒造活用事業について「具体的な活用計画等を早期に策定すべき」「地域住民などの意見を十分に聞き良好な景観を整備すべき」とした附帯決議案を賛成多数で可決。



のこぎり型家並み

文教福祉

佐賀市富士北部デイサービスセンター条例を廃止する条例

〔質問〕条例を廃止し、当該センターを民間事業所に譲渡することで、現在の利用者に対し影響はないのか。

〔答弁〕利用者がこれまでどおり利用できるようにすることが譲渡の前提となっており、当分の間はこれまでどおり民間事業所によるデイサービス事業等は実施される予定である。

〔質問〕民間事業所の採算が合わずデイ

サービス事業等を中止した場合、市が再び事業を行う考えはあるか。

〔答弁〕民間事業所との協議の中で、介護報酬を受けて事業が成り立つことを確認し、譲渡することになった。今後、介護報酬がどうなるかわからないが、利用者の不利益にならないよう、民間事業所と協議しながら事業を継続させていきたい。

〔質問〕この地域での介護サービスは必ず守っていくという考えであると解釈してよいか。

〔答弁〕この場所は佐賀市北部の福祉の拠点としても位置づけられており、この地域での

介護サービスは守っていきたいと考えている。

一般会計予算中、小・中学校空調機整備関連経費

〔質問〕普通教室にのみエアコンを設置し、特別教室には扇風機を設置することであるが、その理由は。

〔答弁〕教科ごとに決まっている教室を特別教室としており、基本的には子どもたちが生活する時間が長い普通教室を優先的に設置していくと考えている。

〔質問〕各学校の特別教室が置かれている状況等は把握しているのか。

〔答弁〕特別教室の状況はしっかりと把握しながら整備を進めているが、校舎改築等に伴いレイアウトが変更された学校については、実際に教室を使用して初めてわかることもあるため、その場合は後から対応することになる。ある程度想定できる分については学校と話をし、臨機応変に対応していきたい。

〔審査結果〕すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。



学校に設置されたエアコン

常任委員会

経済産業

一般会計予算中、水草除去事業

〔質問〕ナガエツルノゲイトウの駆除方法は、〔答弁〕繁殖場所によって駆除の方法を変えている。水路の法面部分に繁殖しているナガエツルノゲイトウは、法面の奥まで根を伸ばしている。表面のみ駆除しても、残った根から再度生えてくるのが考えられるため、手作業による撤去を、また、水中に繁殖しているナガエツルノゲイトウについては、バックホーなどの建設機械を使用した撤去を予定している。

〔質問〕水中に繁殖しているナガエツルノゲイトウについて、水路の水を抜いて、除草剤による駆除を行うことは考えられないのか。

〔答弁〕あくまで除草剤は、農耕地用であり、水を抜いた水路で使用するものではないとメーカー側から回答を得ている。環境面からも水路における除草剤の使用については、今後、検証を行いながら考えていきたい。

同議案中、熱気球世界選手権会場整備事業

〔質問〕河川敷の排水工事は、どのような

工法で行うのか。

〔答弁〕嘉瀬川河川敷は、河川側が高く、堤防に向かって低いという地形となっている。そのため雨水は、一旦、堤防側に流れた後、河川へつながる水路によって河川側に流れている。今回の工事では、堤防側を高めて、堤防側から河川側へ雨水が流れるような傾斜をつくり、雨水を直接河川へ排水することを考えている。また、地下浸透が非常に悪いため、砕石をシートで包んだ管を地下に埋設し、その管を通して、地下に浸透した雨水を河川に排水することも考えている。

〔質問〕コルゲート管を埋設する方法では

ないようだが、目詰まりするようならリスクはないのか。

〔答弁〕コルゲート管を埋設する方法と今回の方法を比較、検討した結果、今回の方法のほうが目詰まりしにくいと判断した。

〔審査結果〕第1号議案は賛成多数で、その他の議案は全会一致で可決すべきものと決定。



嘉瀬川河川敷視察

建設環境

一般会計予算中、バイオマス産業都市構築推進経費

〔質問〕バイオマス産業都市に関する啓発はどのようなことを考えているのか。

〔答弁〕昨年、バイオマス産業都市の認定を受け、その中心は藻類培養だと考えている。佐賀市を藻類培養の拠点として広く認知してもらうために、藻類に関するシンポジウムを開催したい。また、バイオマスを目的として本市へ視察に来られる方々に、他の観光資源等も見てもらおうような仕組み

をつくるための調査、研究にも取り組みたい。

同議案中、清掃工場二酸化炭素分離回収設備整備事業費

〔質問〕清掃工場に新たに整備する二酸化炭素分離回収設備による温室効果ガスの削減効果は、

〔答弁〕今回整備する二酸化炭素分離回収設備から回収した約2トンの二酸化炭素を、清掃工場西側に進出する藻類培養企業に供給する予定である。そして、将来的には新工業団地予定地での使用を約8トンと想定

常任委員会

しており、合計約10トンを供給する想定で設備を準備する計画である。その結果として、現在、1日200トン排出されている二酸化炭素のうち10トンを使用するため、5%の削減効果が生み出されることになる。

〔意見〕今後、各企業が事業を商業ベースに乗せていくためには、市としてもかなりの投資をすることになるであろうが、その都度、経過を見ながら検証を重ねていく必要がある。

また、㈱アルビータ以外にも農業関係や6次産業に結びつくような企業が清掃工場周辺に進出できるような体制を整え、雇用

を創出し、地域振興に繋がるような取り組みを行っていくべきである。

〔審査結果〕すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。



二酸化炭素分離回収設備視察